

ふれあいのつぼさ



- ❄️ 『リハビリテーション室のご紹介と装具に関する新サービスのお知らせ』
- ❄️ 『栄養科のご紹介』
- ❄️ 『防災訓練実施について』



～澁野辺総合病院からのお知らせ～

本年の新型コロナ第5波は地域医療を逼迫し、社会に多大な影響を及ぼしました。オミクロン株による第6波に備えなければなりません。感染症との戦いは今後も続き、新しい生活様式への転換も余儀無くされています。

現在は感染症対策が第一ですが、今後は医療の機能分化やかかりつけ機能の推進が、更に押し進められることと思います。

一つ一つの医療機関は地域のために役割が明確になり、それを果たすことが強く求められる時代となり、またかかりつけ機能とはどういった機能なのか議論が進み、実行に向け、施策が練られて行くこととなります。単独で努力することではなく、地域一丸となって取り組んで行く必要があり、皆さま方のいっそうのお力添えを頂きたいと考えます。来年もよろしくお願い致します。



リハビリテーション室のご紹介と 装具に関する新サービスのお知らせ

リハビリテーション室 技師長 宮本 真明

当院のリハビリテーション室では、脳神経外科疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患、がんなど、様々な疾患により生じたリハビリテーションの需要に幅広く対応しております。また、法人内の介護老人保健施設「青葉の郷」と当院のリハビリスタッフは、定期的にローテーションしながら業務にあたっており、急性期から生活期（入所・通所・訪問）まで、経験豊富なリハビリテーションスタッフが対応しているのも当院の特徴になっています。

刈野辺総合病院では理学療法士（PT）11名、作業療法士（OT）6名、言語聴覚士（ST）4名、青葉の郷ではPT5名、OT2名、ST1名で業務にあたっています。二つの施設を合わせてPTが17名おりますが、そのうち日本理学療法士協会の認定資格取得者が7名（41%）おります。2021年現在、全国の理学療法士の認定取得率が8%であることを踏まえると、とても大きな割合と言えます。これからもそれぞれが研鑽した専門性を活かし、リハビリテーションの質の向上にスタッフ一同精進してまいります。

～ 新サービス開始のお知らせ ～

「病院で装具を作製したけれど、その後のフォローアップができていない！！」

地域の方々のこのようなニーズを背景に、今年度よりリハビリテーション室にて装具に関する新サービスを始めました。装具作製の手続きに関する制度は複雑であり、再作製には専門家の補助が必要です。そこで、お困りのことを当院へご相談いただければ、使用中の装具の評価、新規作製や修理方法など、義肢装具士と理学療法士が相談に乗らせていただきます。

「以前から使っている装具、だいぶ劣化してきているのだけど修理や再作製はできないのかしら？」

「作製から数年経って、最近装具が合わなくなってきたと感じるのだけど…どうしたらいいの？」

などなど、様々なご要望に対応いたします。もちろん、当院以外で作製された装具についても対応させていただきます。予約制となりますので、事前に下記までお電話をお願いします。

当院予約センター：042-754-3271 ※リハビリテーション室での装具診予約とお伝えください。

予約受付時間：月曜～土曜日 9時～17時 ※祝日を除く



栄養科のご紹介

栄養科 科長補佐 小島 志保

当院栄養科では、各疾患に応じた「**栄養指導**」と「**栄養管理**」を行っています。

栄養指導では、

- 糖尿病・高血圧症・脂質異常症・腎臓病・心臓病・肥満症などの疾患がある方
- 胃や腸の手術を受けられた方
- 嚥下機能が低下した方
- 化学療法の副作用で食欲が低下した方
- その他、主治医より依頼があった方



上記の様な患者さんへ、医師の指示のもと、

入院・外来にて**栄養指導**を行います。

日々の食生活についても聞き取りをし、その方が
取り組み易い事を提案しています。患者さんだけでなく
ご家族の方、主に食事を作る方も同席できます。
予約制となっておりますので、ご希望の方は主治医へ
相談してください。



栄養管理においては、医師の指示に基づいて治療の一環として、患者さんの症状や年齢に対応した
上で、衛生的にも安心して召し上がっていただける様、入院中の食事の提供に日々取り組んでいます。
定期的に嗜好調査を行い、ご意見を献立作成に活かしています。食欲の無い患者さんには、病
室訪問し聞き取りを行い、適切な食事の提案も行っています。

これからも、患者さん一人ひとりに合わせた**栄養指導**と**栄養管理**を実践し、患者さんの満足が得ら
れ、一日でも早い回復に貢献できるよう努めていきます。



防災訓練実施のご報告

7月27日に日中火災想定での防災訓練を実施しました。

これまで、入院患者さんのいる4～6階をメインに訓練を行ってきましたが、今回は手術される方や院内薬局で処方される方が出入りする3階で訓練を行いました。病棟と異なり、事務職員を中心に患者さんを誘導するため、事務職員が扱うことの少ない車椅子やストレッチャーを使用する練習にもなり、実際に火災が発生した時の備えとなる訓練でした。



◆ 編集後記 ◆

1等・前後賞あわせ10億円が当たる「年末ジャンボ宝くじ」が、12月24日まで全国で一斉に発売がはじまりました。

テレビをつけると新型コロナウイルスの再拡大や新たな変異株の感染情報など暗いニュースばかりが流れてきます。

たださえ自粛生活の運動不足や生活の乱れによって、リラックスする時間が取れずイライラが増す悪循環の中、大晦日までわくわく・そわそわしながら、「当たったらあれを買って、こんな事するのもいいなあ～」と家族との会話や毎日を元気に過ごすためにも、今年最後の運試しを楽しみたいと思っています。

(広報委員 H・Y)



〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 3-2-8

JR淵野辺駅(北口)下車徒歩5分(駐車場あり)

- * 小田急線ご利用の方は町田駅で横浜線にお乗り換え
- * 京王線ご利用の方は橋本駅で横浜線にお乗り換え
- ※快速は止まりませんので、各駅停車にお乗りください

☎ 連絡先 ☎

淵野辺総合病院 (代表) (042)754-2222

相模原総合健診センター (代表) (042)753-3301